



その荷物お子さんに持たせてはどうか

降園のとき、おうちの人がお子さんの荷物を両手にたくさん抱えて、お子さんは何も持たずに自分のペースで歩いているのをよく見かけます。

おうちの人が荷物をすべて持つと、両手がふさがってしまいます。おうちの人の両手がふさがってでは、お子さんが急に飛び出したり、車が近づいてきた時、とっさに守ってあげる事が出来ません。

だからこそ、小さい時から、自分のカバンは自分で持たせ、お子さんと必ず手をつなぐようにして、少しでも交通事故からお子さんを守る意識を高めよう。



チャイルドシート(ジュニアシート)は何歳まで？

道路交通法では**6歳未満**の幼児を乗車させるには、チャイルドシート(またはジュニアシート)を使用することが義務付けられています。しかし小学生に上がると実に**75%**がチャイルドシート(ジュニアシート)を使わなくなっているそうです。

車のシートベルトは**140cm**以上を対象に作られているので、お子さんの体形にあったチャイルドシート・ジュニアシートを使うことがお子さんの身の安全を守ることにつながるのだからしっかりと使用するようにしましょう。



①幼児用チャイルドシート
(体重 9~18 kg・100 cm以下)

②学童用チャイルドシート
(体重 15 kg~36kg・135 cmぐらい)

3回目の教室が始まっています。

3回目の教室では、年長さんは1年間の復習と、自分で傘を差したり、閉じる練習や小学校入学に向けて本を入れた重たいランドセルを背負って、見通しの悪い交差点の歩き方などを練習します。

5歳児の保護者のみなさん
時間があいましたら、ぜひ
応募にいらしてください。

